

2026

2・3
月号
vol.301

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

Communication & Voluntary

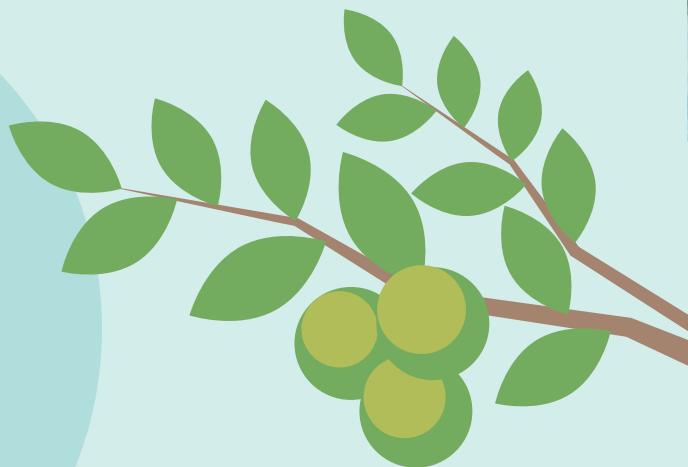
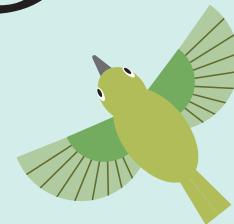
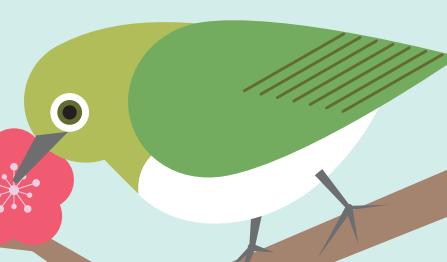
特集

「助け合い・支え合い・つなぐ未来」
自分らしく 楽しく 生きる

特定非営利活動法人 くるる

- 5 おいでよ! 地域のこどもたち
「地域の中庭(なかにわ)」
なかにわカフェ こども食堂
- 7 Pick up! ボランティアグループ
自然な感情や笑顔を引き出す
奇想天外な人形劇を

ぐるーぶ ぬ!





こどもから高齢者まで、世代をこえてつながる。地域に見守られたあたたかな場所



自分らしく 楽しく 生きる

特定非営利活動法人 くるる

「じどものために
何かしたい。動きたい。」

『特定非営利活動法人 くるる』(以下、「くるる」)は、2016年11月にボランティア団体として立ち上がった後、2020年4月に法人格を取得し、こ

題に向き合いながら、団体理念の実現に向けたあたたかい取組みを紹介します。

今号では、じどもたちの抱える課題に向き合いながら、団体理念の実現に向けたあたたかい取組みを紹介します。

また、じどもの居場所を活動の主軸としながら、人と人が自然に助け合い、感謝し合える関係を広げることをめざし、地域や団体、人とのつながりを大切にした活動が積極的におこなわれています。

は、地域とつながり、小さなことも楽しんで自分らしさを大事にできる、そんな居場所となることを理念に掲げ、一人ひとりの「できる」と、を大切にしながら、自分らしく過ごすことができる時間やつながりをそつと支えています。

どもの居場所から地域密着型「ティサー
ビスまで取組みの幅を拡げています。副
理事長を務める大西裕子さん(以下、大
西さん)は、「学生のアルバイトとして児
童館に関わっていたとき、複雑な家庭環
境で暮らす子どもの声を聞く機会が多
くありました。自分自身もこどもの頃
に児童館に通っていたので、こどもたち
が抱える課題に関心をもち、自分にで
きることはないかと考えるようになり
ました」と、自身の原体験と現場での気
づきから芽生えた課題意識を話していく
されました。そんななか、大西さんは「こ
ども食堂」という活動を初めて知ることに
なります。

「こども食堂の言葉を知った同じ時期
に、当時勤めていた会社が「こども食堂」
を始めることになり、運営を手伝える
機会ができました。手伝いをするなか
で「こども食堂をきっかけに地域とつな
がり、関係性ができるれば」と、大西さん
が「こども食堂を始めた」となるのではな
いのかと思つて、親が「お子さんたちが
いる」と、お子さんたちが「こども食堂」
で食事をする姿を見て、大西さんは「こども
食堂」の運営を手伝うことを決意した
のです。



こどもだけで来れるよう、親が安心できる環境づくりも大切に

かと思つて、自分の住む西淀川で活動を始
めることにしました」と、団体立ち上げ
当初から取り組む『こども食堂』の始まりを話してくれました。

こどもの変化から感じる活動の成果

『くるる☆キッチン』は、小学校3年生
以上のおこどもを対象に、月に1回、地域
の小学校の家庭科室を使用して調理実
習をおこなっています。「こども食堂」に
来てくるおこどもが「手伝いたい」と話し
てくれるのもあり、みんなと一緒に
作つて食べる機会があればと思いま
した。また、おこどもがご飯を作れる機会は
家の中でも少なく、自入でもご飯が
つくれるようになることを目標に始め
ました」と、大西さん。

料理は決して凝ったものにはせず、市
販の調味料を使い、簡単な調理工程で
できるメニューを中心に、調理はすべて
こどもたちがおこないます。その結果、
包丁を使うことに慣れお弁当を作れる
ようになった小学生や、親がいない時間
帯の「ご飯を自分で作つて用意できるよ



コロナ禍には、お弁当の配布を続けました



切り方に決まりなく、個性あふれる仕上がりに

うになつた「こどもたちもこどもたち」。「人
ができる」という達成感と成功体験の
積み重ねが、おこどもたちの生活する力
を育んでいます。

学習支援をおこなう『くるる教室』
は、地域の診療所の空きスペースで開催
していた無料塾のス
タッフから「来ててくれる
こどもたちを集めると
め、一緒に何かできない
か」と相談をされたこと
が始まりです。大西さんは、「くるる」で関わつ
いる学校に行くことが
難しい子どもの勉強の
場にもなると考え、共
同での開催を始めまし

た。現在は月に2回、食事付きの学習支
援として単独で開催しています。学習
支援に取り組むきっかけとなつた子は、
今は高校に進学しアルバイトを始めて
います。活動を通して関わり続けたこと
で目に見えて実感するおこどもたちの変
化は、活動の成果とスタッフの喜びにつ
ながっています。

「こどもの居場所では、参加者との関
係性が途切れないと、断らないこと、
大事にしています。活動に来ててくれる
人のなかには、家庭環境だけではなく、
本人が抱える悩みなどもあるのではな
いかと思つて、関わり続けること
で関係を築き、おこどもたちの些細な
変化に気づき、耳を傾け、小さな声を拾
い、手を差し伸べることができればと
思つています」と、大西さんは「こども」の
居場所を運営するうえで大切にしてい
る想いを話してくれました。

世代を超えて つながる場所

『くわゆ』は、高齢者向けの地域密着型「トイサービス」と、障がい児の放課後等デイサービスが交わる共生型サービス『トイサービスくわゆ』(以下、「くわゆ」)を2023年11月に開始。



一緒に魚釣りゲームに挑戦

い、関わり合つてのできる」の場所は、地域で助け合いながら、自分でしく生きうれる社会の実現をめざす一步となつてします。

ス「デイサービスばじる」(以下、「ばじる」)を2023年11月に開始。年齢や立場の異なる人が自然と出会い、関わり合うことのできるこの場所は、地域で助け合いながら、自分らしく生きられる社会の実現をめざす一步となっています。

日々の活動の中で高齢者とともに、たちがおやつと一緒に食べたり、工作や

でじく様子から、高齢者といじりもたらすが、関わる魅力を実感すると同時に、地域の中で互いに支え合う関係の大切さを教えてくれます」と、大西さん。

『ばじる』は、いじりも食堂と学習支援の拠点でもある一方で、地域で生活する誰もが役割をもち、自分らしく生きられる社会の実現をめざしたあたたかな取組みが実施されています。

つながり、築き
みんなで支える

『くるる』はこれまで地域の建設会社や診療所、小学校など多様な団体とつながりをつくることで、活動を発展させ、今でも多くのイベントを自分たちはもちろん、行政や商店会、P.T.A、他のごどもの居場所活動団体などと一緒に開催しています。他団体とつながる理由について大西さんは、「やりたい」とやつてただけなんです」と、遠慮がちに話しますが、「西淀川区内の」ごどもの居場所に取り組む支援団体の集まりへの参画

に足を運び、人とのつながりをつくりてきました。大西さんは、「僕らの課題に关心を抱いた当初は、悩みを聞いても自分にできる術はありませんでした。でも、僕らも食堂を始め、いろんな団体と出会ってつながったことで今までには聞くだけで終わっていた悩みに対し、助言や行動など、解決につながる一歩を踏み出す」とができるようになつたと思いまます」と、活動を続けてきた10年を振り返ります。

人に出会う場面が増え、つながりが生まれます。それが、こどもたちの将来的な選択肢が拡がるとともに、広く地域でこどもたちを支えることにもつながると願いを込め、これからも関わる全ての人があつたまに心豊かになれる居場所づくりを、「くるる」は続けていきます。

特定非営利活動法人 くるる
TEL:090-5648-7182
Eメール nishiyodokururu@gmail.com
<https://ny-kururu.com/>



体育館でダンボール工作のイベントを開催

人に出会う場面が増え、つながりが生まれます。それが、こどもたちの将来的な選択肢が拡がるとともに、広く地域でこどもたちを支えることにもつながると願いを込め、これからも関わる全ての人があつたまに心豊かになれる居場所づくりを、「くるる」は続けていきます。

特定非営利活動法人 くるる
TEL:090-5648-7182
Eメール nishiyodokururu@gmail.com
<https://ny-kururu.com/>

A group of children and adults are gathered in a gymnasium for a cardboard box workshop. Several large cardboard boxes are scattered on the floor, and children are seen working on them. An adult in a white shirt and blue jeans is crouching down, observing a child's work. Another adult in a red shirt and blue jeans is also present, interacting with the children. The scene is filled with cardboard pieces, tape, and other materials used for the workshop.

や、区内のワードピントリーに係る実行委員会の参画は「くるる」の活動を活性化させる基盤づくりでもあり、他団体との交流やイベント参加についても、「どうもたかに還元できるか」ということを常に意識しています」と、大西さんから強い想いが感じ

A large indoor space, possibly a gymnasium or community hall, is filled with stacks of cardboard boxes. In the foreground, a child wearing a blue mask sits at a long table made of cardboard. Several other people, including adults and children, are scattered throughout the room, some pushing strollers and others standing near the boxes. The scene suggests a temporary shelter or distribution point for relief supplies.

特定非営利活動法人 くるる

TEL:090-5648-7182

メール nishiyodokururu@gmail.com

<https://ny-kururu.com/>

ボランティアに関する補償制度のご案内

2026年度のボランティア保険の受付は、2月2日(月)から開始しています

	ボランティア活動保険	ボランティア行事用保険																																																																																				
補償概要	ボランティアがボランティア活動中の急激かつ偶然な外来の事故により死傷された場合や、偶然な事故により他人にケガを負わせたり、他人の物を壊したこと等により法律上の損害賠償責任を負われた場合に保険金をお支払いします。	怪我の補償：行事参加者が行事中の急激かつ偶然な外来の事故により怪我をされた場合に保険金をお支払いします。 賠償責任の補償：行事中に他人に怪我をさせたり、他人の物を壊したことにより、行事主催者及び共催者が法律上の損害賠償責任を負われた場合に保険金をお支払いします。																																																																																				
加入対象者	社会福祉協議会及びその構成員・会員並びに社会福祉協議会が運営するボランティア・市民活動センターなどに登録されているボランティア、ボランティアグループ、団体	社会福祉協議会及びその構成員・会員並びに社会福祉協議会が運営するボランティア・市民活動センターなどに登録されているボランティア、ボランティアグループ、団体																																																																																				
補償期間	毎年4月1日午前0時～3月31日午後12時 ※中途加入の場合は、加入申込み手続き完了日の翌日午前0時～3月31日午後12時	行事開催期間（加入手続完了日の翌日午前0時以降の行事開催日を補償します）																																																																																				
対象となる活動・行事	日本国内における「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」で、次の①～③のいずれかに該当する活動とします。 ①グループの会則に則り企画、立案された活動であること。（グループが社会福祉協議会に登録されていることが必要です。） ②社会福祉協議会に届け出た活動であること。 ③社会福祉協議会に委嘱された活動であること。	地域福祉活動*やボランティア活動の一環として日本国内で行われる各種行事 *地域福祉活動とは、地域住民や関係団体、ボランティアなどが参加する活動で地域の福祉を高めるために取り組むさまざまな活動のこと。																																																																																				
保険金額および保険料	<table border="1"><thead><tr><th></th><th>基本プラン</th><th>天災・地震補償プラン</th></tr></thead><tbody><tr><td>死亡保険金</td><td>1,040万円</td><td></td></tr><tr><td>後遺障害保険金</td><td>1,040万円(限度額)</td><td></td></tr><tr><td>入院保険金日額</td><td>6,500円</td><td></td></tr><tr><td>手術保険金</td><td>入院時の手術 外来の手術</td><td>65,000円 32,500円</td></tr><tr><td>通院保険金日額</td><td>4,000円</td><td></td></tr><tr><td>特定感染症</td><td>補償開始日から補償</td><td></td></tr><tr><td>地震・噴火・津波による死傷</td><td>×</td><td>○</td></tr><tr><td>賠償責任保険金(対人・対物共通)</td><td>5億円(限度額)</td><td></td></tr><tr><td>年間保険料</td><td>350円</td><td>500円</td></tr></tbody></table> <p>●基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。 ◆中途で加入される場合も上記の保険料となります。 ◆中途脱退による保険料の返金はありません。 ◆中途でボランティアの入替やプラン変更はできません。 ◆ご加入は、お1人につき1つのプランのみとなります。</p>		基本プラン	天災・地震補償プラン	死亡保険金	1,040万円		後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		入院保険金日額	6,500円		手術保険金	入院時の手術 外来の手術	65,000円 32,500円	通院保険金日額	4,000円		特定感染症	補償開始日から補償		地震・噴火・津波による死傷	×	○	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)		年間保険料	350円	500円	<table border="1"><thead><tr><th colspan="2"></th><th>A・B・Cプラン共通</th></tr></thead><tbody><tr><td colspan="2">死亡保険金</td><td>400万円</td></tr><tr><td colspan="2">後遺障害保険金</td><td>400万円(限度額)</td></tr><tr><td colspan="2">入院保険金日額</td><td>3,500円</td></tr><tr><td rowspan="2">手術保険金</td><td>入院時の手術</td><td>35,000円</td></tr><tr><td>外来の手術</td><td>17,500円</td></tr><tr><td colspan="2">通院保険金日額</td><td>2,200円</td></tr><tr><td colspan="2">対人賠償</td><td>2億円(限度額)</td></tr><tr><td colspan="2">対物賠償</td><td>1,000万円(限度額)</td></tr><tr><td colspan="3">〈Aプラン：宿泊を伴わない、かつ参加者が事前に特定できる行事(1日・1名につき)〉</td></tr><tr><th colspan="2">A1行事</th><th>A2行事</th><th>A3行事</th></tr><tr><td>1日28円(最低保険料560円)</td><td>1日126円(最低保険料2,520円)</td><td>1日248円(最低保険料4,960円)</td></tr><tr><td colspan="3">〈Bプラン：宿泊を伴う行事1名につき〉</td></tr><tr><th colspan="2">1泊2日</th><th>2泊3日</th><th>3泊4日</th><th>4泊5日</th></tr><tr><td>241円</td><td>295円</td><td>300円</td><td>354円</td></tr><tr><td colspan="3">〈Cプラン：宿泊を伴わない、かつ参加者が事前に特定できないA1区分行事(1日・1名につき)〉</td></tr><tr><td colspan="3">1日28円(最低保険料560円)</td></tr></tbody></table>			A・B・Cプラン共通	死亡保険金		400万円	後遺障害保険金		400万円(限度額)	入院保険金日額		3,500円	手術保険金	入院時の手術	35,000円	外来の手術	17,500円	通院保険金日額		2,200円	対人賠償		2億円(限度額)	対物賠償		1,000万円(限度額)	〈Aプラン：宿泊を伴わない、かつ参加者が事前に特定できる行事(1日・1名につき)〉			A1行事		A2行事	A3行事	1日28円(最低保険料560円)	1日126円(最低保険料2,520円)	1日248円(最低保険料4,960円)	〈Bプラン：宿泊を伴う行事1名につき〉			1泊2日		2泊3日	3泊4日	4泊5日	241円	295円	300円	354円	〈Cプラン：宿泊を伴わない、かつ参加者が事前に特定できないA1区分行事(1日・1名につき)〉			1日28円(最低保険料560円)		
	基本プラン	天災・地震補償プラン																																																																																				
死亡保険金	1,040万円																																																																																					
後遺障害保険金	1,040万円(限度額)																																																																																					
入院保険金日額	6,500円																																																																																					
手術保険金	入院時の手術 外来の手術	65,000円 32,500円																																																																																				
通院保険金日額	4,000円																																																																																					
特定感染症	補償開始日から補償																																																																																					
地震・噴火・津波による死傷	×	○																																																																																				
賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)																																																																																					
年間保険料	350円	500円																																																																																				
		A・B・Cプラン共通																																																																																				
死亡保険金		400万円																																																																																				
後遺障害保険金		400万円(限度額)																																																																																				
入院保険金日額		3,500円																																																																																				
手術保険金	入院時の手術	35,000円																																																																																				
	外来の手術	17,500円																																																																																				
通院保険金日額		2,200円																																																																																				
対人賠償		2億円(限度額)																																																																																				
対物賠償		1,000万円(限度額)																																																																																				
〈Aプラン：宿泊を伴わない、かつ参加者が事前に特定できる行事(1日・1名につき)〉																																																																																						
A1行事		A2行事	A3行事																																																																																			
1日28円(最低保険料560円)	1日126円(最低保険料2,520円)	1日248円(最低保険料4,960円)																																																																																				
〈Bプラン：宿泊を伴う行事1名につき〉																																																																																						
1泊2日		2泊3日	3泊4日	4泊5日																																																																																		
241円	295円	300円	354円																																																																																			
〈Cプラン：宿泊を伴わない、かつ参加者が事前に特定できないA1区分行事(1日・1名につき)〉																																																																																						
1日28円(最低保険料560円)																																																																																						

★このご案内は概要を説明したものです。詳細はリンクに掲載のパンフレットにてご確認ください。

★大阪市ボランティア・市民活動センターと、各区ボランティア・市民活動センターでご加入いただけます。



ボランティア活動保険
パンフレットPDF

《お問合せ先》

大阪市ボランティア・市民活動センター

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター1F

TEL:06-6765-4041 FAX:06-6765-5618



ボランティア行事用保険
パンフレットPDF

おいでよ！地域の「こどもたち」

「こども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がる「こどもの居場所づくり」の取組みをご紹介します。

「地域の中庭（なかにわ）」 なかにわカフェ こども食堂（北区）



流行中のシール交換で、大盛り上がり！

扇町駅（北区）から徒歩1分、飲食店が立ち並ぶ天神橋筋商店街に面し、コンクリートと木のバランスが調和したおしゃれな『なかにわカフェ』は、2022年11月に中西金属工業株式会社（以下、中西金属工業）が開設。昼間は「福祉カフェ」として営業し、毎週水曜日の17時～19時は「こども食堂」が開催されています。

『なかにわカフェ』は、中西金属工業が、創業家社長の「『こども教育や地域・社会福祉に貢献したい』とい

う想いから社会貢献の一環として2018年に都島区で始まり、2022年に現在の商店街の中に移転しました。

2階の奥にはキッズスペースがあり、17になると次々に「こどもたちが飛び込んできます。1階で調理を担当するのは「NPO法人真成会」のみなさんで、顔なじみの子は、キッチンに入つて今日のメニューを聞いたり手伝つたりするそう。「こどもたちと遊んだり、配膳をするのはボランティアスタッフと社員のみなさん。

「こどもたちには学校や習い事

ではできないことを体験してほしい」と話すのは、担当の小林奈都さん（以下、小林さん）。

「無償での食事提供だけでなく、企画イベントも月1回程度開催し、さまざまな体験の機会を提供しています。大阪公立大学の学生と連携して夏祭りやクリスマス会を開催したり、さまざまな団体さ



大人気のカレーを食べながら「ハイ、チーズ！」



ママ友同士でお話ししながら、ホッと一息

なかにわカフェ こども食堂
(中西金属工業(株) サステナビリティ戦略部)
Eメール csr-csr@nkc-j.co.jp

ともあつて本当にありがたい存在です」と、大好評。
「こどもたちやママから「なつちゃん」と親しまれる小林さんは、「近年、都市部では地域とのつながりが希薄化してきていますが、商店街の中にある『なかにわカフェ』だからこそ、活動を通じて、もっと地域交流していきたいと考えています」と、こやかに話してくれました。

実際に参加していったママも「ここでは自発的にこどもが自分でお水を入れにいったり、違うお母さんと一緒にテーブルで食事をしたり、ママ友同士がこどつながるこ

んど」「ラボイベントを開催する」とで、「こどもたちの新しい可能性を広げていきたいんです」と、小林さん。

※就労継続支援B型事業所（NPO法人真成会）が運営する「レーヤタコライスなどが魅力のカフェ



「じどもたちの、地域での思い出が、将来、地域に還っていくことを願つて

特定非営利活動法人 smile あふる × ブルーヴェール株式会社

12月24日(水)に、「特定非営利活動法人 smile あふる」(以下、「smile」といいます)と「ブルーヴェール株式会社」(以下、「ブルーヴェール」)の共催で、クリスマスイベントが開催されました。

「smile」は、代表である富田恵子さん(以下、「富田さん」)の、「じどもたち」(以下、「じども」)でも大人でも、立ち話感覚で友達のように気楽に話ができる人や場所があれば、孤立する」となく1人で抱え込まなくて済むのではないかとの想いから、2022年に任意団体として「じども食堂」を開始。現在は「じども食堂」だけでなく、学習支援やフードパンtryを行い、2024年4月に法人化した団体です。



『smile』の右腕、ジュニアスタッフ

「ブルーヴェール」は、「ブライダル」会員者の「コーディネーター」や「マネジメント」、また、司会者の養成などを行っている企業です。代表取締役の木場円さん(以下、「木場さん」)は、社会貢献を実施する慈善事業部を2009年に立ち上げ、その想いに賛同した司会者達も「披露宴」として100円を募金し、集まったお金を元に、さまざまな社会貢献の取組みを進めてきました。そんななか、木



固唾を飲んで、次に発表される番号を待っています

場さんは「じどもの居場所活動に強い関心を持っており、大阪市ボランティア・市民活動センターが実施する『地域こども支援ネットワーク事業』を通じて、

「smile」とともにクリスマスイベントを開催する」としました。

クリスマスイベントは「普段」smileが学習支援を行っている定願寺(生野区)が会場です。クリスマスイベントに参加する「じどもたち」を待っていたのは、

「ブルーヴェール」のスタッフたちが頭

を悩ませながら選び、また、可愛いラッピングを施した、ビンゴ大会用の景品の数々。田の前にあるおもちゃや文具、お菓子を見て「じどもたちは「私は絶対あれが欲しい!」「俺が一番にビンゴになつてあのおもちゃをゲットする!」と大興奮。

いざ始まる、「ブルーヴェール」のスタッフがマイクを握り、ビンゴ大会を行。さすがはプロの腕前で、年齢差のある「じどもたち」でも全員が平等に楽しめるよう、ルールをきちんと説明しながら会場を盛り上げます。

一方、「この線から出ないように!」と富田さんは立ってや!」と富田さんは一生懸命「じどもたち」に声を掛けますが、「じどもたちの大歓声が飛び交う前では、なかなか耳に届きません。そこ



最後は「ブルーヴェール」木場さんと、ジャンケン大会!

で、「smile」の学生ボランティアスタッフは、「じどもたち」と全力でビンゴ大会を楽しみながらも、富田さんの声掛けに耳を傾けて、スムーズな進行をサポートします。

富田さんと「ブルーヴェール」の「じどもたちへの想い」が交わって開催された今回のクリスマスイベント。参加した「じどもたち」が、「楽しかった思い出」としてはもちろん、「地域で大人も「じども」みんなで楽しむこと」の大切さを感じる時が来ることを願つて、これからも「地域こども支援ネットワーク事業」を推進していきます。

*令和7年度大阪市ボランティア活動振興基金 学生・若者が取り組むボランティア活動交付団体へ突撃取材

※学生や若者が主体的に地域課題の解決に取り組む活動への支援

被災地で得た学びを大阪へ

大阪総合保育大学短期大学部 学生防災リーダー



「私たちが考える防災バッグ」を地域で提案

『大阪総合保育大学短期大学部 学生防災リーダー』（以下、「学生防災リーダー」）の取組みが始まったのは、東日本大震災から5年が経過した2016年。顧問の長橋幸恵さんは、「被災地でのボランティア活動を単発で終わらせたくないため、震災を『伝える』ことに視点をおきました。被災した現地で当時の話を聞くことで、自身の備えに対する意識が芽生え、それを大阪で伝えることで助かる命が増えればと思っています」と、学生とともに活動を始めた想いを話します。

「学生防災リーダー」の活動では、例年、宮城県の石巻や南三陸町を訪れ、震災の経験談や、当時の記録写真などから持ち帰った震災の教訓を地域の親子サロンや防災イベントなどで伝えていきます。また、参加型の避難体験を取り入れるなど、理解しやすく、楽しく学べるよう、学生たちが主体的に意見を出し合って内容を考えています。

活動を通して「地域の避難場所や、将来進みたい業界での防災の取組みや課題などにも関心をもつた」「被災した時には、自分の命を守りながら助けられる側でなく助ける側になれたら」と、学生たちは多くの学びと変化を得ています。学生の卒業による世代交代を経ながらも、活動の活性化を続け、幅広い世代に災害への備え方を伝えることが、地域全体の防災意識の向上につながっていくことを期待しています。

大阪総合保育大学短期大学部
学生防災リーダー（担当：長橋）
TEL: 06-6702-9783

自然な感情や笑顔を引き出す 奇想天外な人形劇を

Pick up!
ボランティア
グループ



個性豊かな人形たちはメンバー皆さんの手作り

『ぐるーぶぬ!』は、小学校の「こども会行事の参加をきっかけに知り合った6人のメンバーで、絵本や紙芝居の読み聞かせと人形劇の活動を続け、30年が経ちました。

『ぐるーぶぬ!』の代表、坂口真子さんは「1995年に発生した阪神・淡路大震災の避難所慰問で人形を握りしめることでさんと出会いました。大學時代に人形劇サークルに属していたこともあり、人形が子どもに与える癒しなどを実感し、人形劇活動をおこなう」としました」と、市内の図書館や区民センターなどの公共施設で年30回程の巡演をする活動の始まりを話してくれました。

人形劇で繰り広げられる物語の多くは、オリジナル脚本です。昔話の『ももたろう』でも、鬼を攻撃ではなく、すぐつてみるなどの遊び心を加え、こどもたちの感情をワクワクさせます。

「幼少期に人形劇を見に来ていた人が、今では親になり、こどもを連れて来てくれる」「こどもたちが喜ぶ姿に自分たちも元気をもらいう」と、喜びを話すメンバーの表情からは自身が楽しんで活動する様子が伝わります。

今後の展望について、「区内で人形劇をする新たな人材の芽を増やしていきたい」と、話します。『ぐるーぶぬ!』では、講師を招いて技術を高め、イベントの企画実施、他のグループとの交流など、向上心と好奇心にあふれた活動が今後も続いていることを語ります。

ぐるーぶぬ!（代表：坂口）
papema996@gmail.com



こどもたちの遊びと学びと生活の場

認定NPO法人こどもの里

西成区・金ヶ崎のこどもたちに健全で自由な遊び場を提供したいとの思いから1977年にこども達の遊び場「子どもの広場」として始まり、現在の「こどもの里」にいたるまでの49年間、こどもの里の活動は金ヶ崎に生きるこども達が創り出しています。地域の遊び場・居場所として活動していく中、こども達の生活を保障するために生活・相談の場、自己肯定感を育む活動やあんしん・あんぜんを守るために「命こそ宝」を基にして学ぶ場ともなりました。こどもの権利を守り、保護者・地域・こども達に関わる者が共に一丸となって、常にこどもの立場に立ち、こどもがこどもらしく生きられるように、こどもの最善の利益を考えながら、こどもの個々のニーズに応えることができるよう活動しています。

学童保育・自立援助ホーム・緊急一時宿泊・プレーパーク・こども食堂・アフターケアにエンパワメント事

<https://kodomonosato.studio.site/>

業…様々な事業はしていますが、「さとにきたらええやん!」思いきり遊びたい時、学びたい時、何か困ったことがある時、ちょっと休憩したい時、フラットでも…地域のつながりの中で、こども達が安心して生き、自分のやりたい事を選んではする子育ちができる、そんな場所であり続けます。

「こどもの里」ではスタッフを募集しています。



0歳から大人まで大きな家族の様に過ごしています



活動報告会の様子

『第51回 産経市民の社会福祉賞』受賞!!

障がい者・高齢者・子どもたちに寄り添い、支援を行つてゐるボランティア団体等を顕彰する『産経市民の社会福祉賞』。第51回目を迎える同賞では、大阪市内を中心に活動を行つてゐる2団体が受賞し、12月1日(月)に表彰式が開催されました。

今回受賞した2団体は、障がい者や子ども、留学生支援などの社会課題について学生たちとデザイン力で解決に取り組む『特定非営利活動法人

Deep People』ディープピープルと、子どもたちが自ら企画・運営等に関わり、難病と闘つておられる高齢者施設等にて合唱でナールを届けている『Osaka Children's Choir』大阪子供合唱団。

当日は、団体設立の経緯や取組み内容について2団体から報告。その後、同賞選考委員で一般社団法人ボランティアセンター支援機構おおさか代表理事の新崎国広さん(以下、新崎さん)を中心ディスカッションが行われました。

「2団体ともに、大人から子どもまでつながりを持ち、みんな違つてみんなない誰もひとりぼっちにならない」をテーマに、学生やこどもたちが「するもしないも含めて主体的に取り組んでいる」と新崎さん。

学生やこどもたちの成長とともに社会課題の解決につながつてゐることが、2団体ともに「やりがい」となつてゐる。一方、社会環境の変化や活動継続のため、人員や費用面についての課題にも向き合つていかなければなりません。

これからも地域共生社会を担う2団体の活躍を期待しています。おめでとうございました!

情報マーケット

Information Market

『参加してみたい!』と思ったり、内容について聞いてみたいことがあれば、各団体まで直接『コンポを見て』とお問い合わせください。



ボランティア
募集などの情報



イベント・講座・
セミナーなどの情報



その他、助成金
などの情報

OCVAC のウェブサイトから
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

③[第30回なにわ人形芝居フェスティバル]ボランティア募集

なにわ人形芝居フェスティバル事務局

<https://ningyoufes.jp/>

桜咲くお寺や神社で人形劇や模擬店を楽しめる天王寺の地域イベントです。スタンプラリーや人形劇会場受付などのお手伝いをお願いします!

日 程 4/5(日) 8:30~16:00
 場 所 一心寺シアター俱楽(天王寺区逢阪2-6-13 B1F)ほか
 ((活動場所は一心寺~下寺町周辺のお寺や神社など))
 各線「天王寺」駅から徒歩15分
 地下鉄「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅から徒歩15分
人数・条件 終日活動できる人(中学生以上)※中学生は保護者同伴
 定員:70人程度(多数抽選)
 交通費:クオカード1,000円分支給 食事あり(昼食)
申込方法 HPの応募フォーム・TEL 締切:2/28(土)
 ※抽選結果は3月初旬に応募者全員へ郵送

問合せ▶ TEL/06-6774-2877

Eメール ningyoufes@isshinji.net

④機関紙発送作業のお手伝い

大阪頸髄損傷者連絡会

機関紙の発送作業を行います。内容は機関紙の仕分けや梱包、タックシール貼りなど簡単な作業です。ご都合つく時間内だけでも大丈夫ですのでよろしくお願ひします。

日 程 3/8(日) 10:00~12:30

場 所 ベルエキップ・オグラン 1階(都島区中野町3-4-21)
 JR「京橋」駅、地下鉄「都島」駅から徒歩13分

人数・条件 どなたでも

申込方法 Eメール

問合せ▶ TEL/080-2446-3084

Eメール nekemasa43@gmail.com

ボランティア活動を長く続ける 5つのポイント

充実したボランティア活動を、長く続けていくためには次の5つのポイントを参考に、自分にあった活動を探しましょう。

Point 1

興味や関心がある事からはじめよう!

Point 2

活動は余裕をもって、無理をしない!

Point 3

約束やルールは必ず守ろう!

Point 4

相手や関係者の立場を尊重しよう!

Point 5

万が一に備えてボランティア活動保険に入ろう!



⑨点訳ボランティア養成講座

公益社団法人 大阪府鍼灸マッサージ師会

<https://www.osmk.osaka.jp>

6つの点の組み合わせだけで拡がる点字の世界を体験してみませんか!!
初心者向けの楽しい講座です。少しでも興味のある人、大歓迎です。

日 程 4/1(水)～6/17(水)全10回(毎水曜日)各14:00～16:00
※4/29(水)、5/6(水)を除く

場 所 大阪府鍼灸マッサージ会館 3階(阿倍野区昭和町2-10-5)
地下鉄「昭和町」駅3番出口から徒歩5分

人数・条件 どなたでも 定員:10人
参加費:無料(テキスト代として1,540円必要)

申込方法 TEL・FAX・郵便・来所 締切:3/23(月)

問合せ▶ 〒545-0011 阿倍野区昭和町2-10-5 大阪府鍼灸マッサージ会館
TEL/06-6624-3332 FAX/06-6624-3337

⑩第6期 外国人介護スタッフ応援隊養成講座

特定非営利活動法人 介護保険市民オンブズマン機構大阪
<https://o-netnpo.site>

高齢者施設で働く外国人介護スタッフに寄り添い、ボランティアでサポートを行う応援隊活動。その担い手となる「応援隊」を養成する講座です。

日 程 オンデマンド 4/7(火)～配信開始
スクーリング 4/25(土) 10:30～16:30

場 所 PLP会館 4階 小会議室(北区天神橋3-9-27)
地下鉄「扇町」駅4番出口から徒歩3分
JR「天満」駅から徒歩5分

人数・条件 18歳以上 外国人介護スタッフの支援に関心のある人
定員:30人 参加費:4,000円

申込方法 FAX・Eメール・郵便・HP・来所 締切:3/31(火)

問合せ▶ 〒530-0041 北区天神橋3-9-27 PLP会館 3階
TEL/06-6949-8192 FAX/06-6949-9296
Eメール o-netnpo@train.ocn.ne.jp

⑪2026年度 ボランティア養成講座

大阪YMCA 総合教育センターサポートクラス
<https://x.gd/ivz2r>

こどもたちに寄り添いながらクラスをサポートするボランティア希望の方を対象に、
発達障がいの基礎知識や援助の仕方を学んでいただきます。

日 程 4/11(土) 10:00～12:00(受付:9:30～)

場 所 大阪YMCA会館(西区土佐堀1-5-6)
地下鉄「肥後橋」駅から徒歩7分
京阪「渡辺橋」駅から徒歩7分

人数・条件 どなたでも 定員:20人 参加費:無料

申込方法 HP 締切:4/9(木)

問合せ▶ TEL/06-6441-5070 FAX/06-6443-7544
Eメール supportclass@osakaymca.org

⑫点訳ボランティア養成講習会 受講者募集

大阪市立早川福祉会館点字図書室

<https://www.lighthouse.or.jp/hayakawa/>

見えにくい・見えない人のために、図書や情報を点字で届けてみませんか?
はじめての方向けの講習です。経験の有無は問いません。

なお、音訳ボランティア養成講習会も6月から開講します。

日 程 午前の部 6/3(水)～10/21(水)の各水曜日(8/12は休講)各日10:00～12:00
夜の部 6/12(金)～10/23(金)の各金曜日(8/14は休講)各日18:30～20:30

場 所 大阪市立早川福祉会館(東住吉区南田辺1-9-28)
地下鉄「駒川中野」駅から徒歩10分、「西田辺」駅から徒歩15分

人数・条件 事前説明会(5/13(水)～5/20(水)のどれか1回)に参加できる人
(事前説明会の申込みは不要です)
・講習会修了後、点字図書室ボランティアとして活動できる人
定員:各20人 参加費:無料

申込方法 TEL・FAX・Eメール 締切日については事前説明会でお伝えします

問合せ▶ TEL/06-6622-0123(月～土 9:30～17:00)
FAX/06-6622-0020
Eメール hayakawa-f@k2.dion.ne.jp

⑤★1日のみOK★駅前ゴミ拾いボランティア募集

淀川コネクトクラブ

<https://yodocone.jimdosite.com/>

初心者歓迎、運動にもなる朝活 一緒に楽しく地域貢献しませんか?
詳細はお気軽にお問い合わせください!

日 程 毎日6:30～7:00

場 所 地下鉄西中島南方駅(淀川区西中島1-12-10)

人数・条件 どなたでも ※トングとゴミ袋の貸出をいたします

申込方法 Eメール

問合せ▶ Eメール yodocone@gmail.com

⑥病院内でのボランティアさんを募集しています!

大阪鉄道病院

<https://www.jrosakahosp.jp>

私たちと一緒に患者さんのサポートをしていただけませんか?

内容:移動図書、趣味を活かした裁縫や編み物、楽器演奏、ホールでの外来患者さんのご案内

日 程 毎週月～金曜日9:00～17:00(ご相談ください)

場 所 大阪鉄道病院(阿倍野区松崎町1-2-22)
JR・地下鉄「天王寺」駅、近鉄「大阪阿倍野橋」駅から東へ徒歩5分

人数・条件 高校生以上

申込方法 TEL

問合せ▶ TEL/06-6628-2221 FAX/06-6628-4707

⑦「ふれあいバザーinフラムテラス」開催

Daigasグループ“小さな灯”運動、大阪ガスネットワーク(株)

<https://network.osakagas.co.jp/effort/index.html>

このバザーは、障がいのある方々の社会参加や就労支援を目的に、福祉作業所で作られた焼き菓子やパン、雑貨などを販売いたします。ぜひご来場下さい!

日 程 2/19(木)・26(木)
3/5(木)・12(木)・19(木)・26(木)
各日11:30～13:30

場 所 大阪ガス 本社ガスビル 南館1階 フラムテラス内(中央区平野町4-1-2)
地下鉄「淀屋橋」駅13番出口から南へ徒歩3分

人数・条件 どなたでも

申込方法 申込不要

問合せ▶ Eメール tomoshibi@osakagas.co.jp

⑧時をかけるコンサート

大阪ブギウギあんさんぶる

昭和、平成、令和3つの青春を金管アンサンブルの演奏でお届けするコンサート。ロビーでは、地域で活動する団体の展示とクイズラリーを同時開催します。

日 程 2/28(土) 12:30～15:45

場 所 大阪市立阿倍野区民センター(阿倍野区阿倍野筋4-19-118)
地下鉄「阿倍野」駅から徒歩2分
地下鉄・JR「天王寺」駅から徒歩10分

人数・条件 どなたでも 定員:600人 参加費:無料

申込方法 申込不要

問合せ▶ Eメール osaka.boogie.woogie@gmail.com

⑯おしゃべりカフェ

特定非営利活動法人 kunこころの宮
<https://kun-kokoronomiya.org/>

誰もが集まるコミュニケーションの場。
皆でワイワイおしゃべりしましょう!

日 程 毎月第4土曜日13:00~16:00

場 所 新谷町第一ビル306(中央区谷町7-2-2)
地下鉄「谷町六丁目」駅

人数・条件 どなたでも 参加費:500円

申込方法 TEL・Eメール

問合せ▶ TEL/06-6777-6156

Eメール info@kun-kokoronomiya.org

⑰不登校親の会

フラワーズ

<https://flowers590.jimdo.com/>

皆さんの周りに不登校の子の保護者はいませんか?
安心して語り合いませんか?月1回、日曜日は区民センターで開催。

日 程 每月第1・第3月曜日、2/23(月・祝) 各日10:00~12:00

場 所 西成区社会福祉協議会(西成区岸里1-5-20 西成区合同庁舎8階)
地下鉄「岸里」駅直結
地下鉄・南海「天下茶屋」駅から徒歩5分
※西成区民センター(西成区岸里1-1-50)

人数・条件 どなたでも 参加費:500円

申込方法 TEL・Eメール・HP

問合せ▶ TEL/050-3748-8781

Eメール sm59005@yahoo.co.jp

情報 求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしています。どうぞお寄せください。

申し込み方法 専用フォームから情報をお寄せください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618
Eメール ovcav@osaka-sishakyo.jp (担当:泉)
※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。(例:2026年4月15日発行号(4・5月号)に掲載希望の場合は2026年2月末まで)

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。



オリジナルサコッシュをプレゼント!!

いつも情報誌『COMVO』をご愛読いただきありがとうございます。

P.14上段の読者アンケートにご協力いただいた皆さまの中から抽選で毎号3人に、『COMVO』オリジナルサコッシュをお送りします。

ぜひ、ご意見・ご感想をお聞かせください。

※応募は、ハガキ、FAX、EメールまたはQRコードからお送りください(P.14参照)

⑬「第47期 お話の語り手講座」受講生募集

なにわ語り部の会

「いつでもどこでもお話を」と素語りでお話ボランティアをしています。
お話の世界を楽しみながら語りの方法を学び、一緒に活動しませんか。

日 程 6/6・20、7/4・18、9/5・19、10/3・17・31(各土曜日/全9回)
各日10:00~12:00

場 所 大阪ボランティア協会 市民活動スクエアCANVAS谷町
(中央区谷町2-2-20 大手前類第一ビル2F)
地下鉄「天溝橋」駅3番出口・「谷町四丁目」駅1-A出口から徒歩5分

人数・条件 お話の語りを通じて、ボランティア活動や仕事に生かしたい人及び当会に入会希望の人
定員:15人 参加費:10,000円

申込方法 TEL 締切:5/27(水)

※申込みが5人に満たない場合は開講を取りやめることができます

問合せ▶ TEL/090-5055-3112

土日祝

単 繼

葉

平日

単

継

葉

⑭えんjoy「百歳体操とミニらいとモルック®体験会」

銀山寺社会福祉活動 えん・てらす

<https://www.ginzanji.or.jp>

介護予防として百歳体操、認知症予防としてミニらいとモルック®体験会を行っています。一緒にエンジョイしませんか?

日 程 毎週金曜日 10:00~12:00
※休みの設定日あり

場 所 銀山寺 積善会館(天王寺区生玉町6-26)
地下鉄「谷町九丁目」駅3番出口から徒歩10分

人数・条件 どなたでも 参加費:無料

申込方法 申込不要

問合せ▶ TEL/06-6771-2702 FAX/06-6771-2712

Eメール ginzanji@gmail.com

平日

単

継

葉

土日祝

単

継

葉

⑮囲碁同好会

大成小学校囲碁クラブ

囲碁を何局でも好きなだけ対戦出来ます。初心者大歓迎。
月1回プロ棋士の講座及び対戦も可能(1局のみ)

日 程 毎週土曜日17:00~20:00

場 所 大阪市立大成小学校内 多目的室(東成区大今里西3-2-62)
地下鉄「今里」駅から徒歩6~8分

人数・条件 どなたでも 参加費:無料

申込方法 Eメール

問合せ▶ Eメール htakondo@yahoo.co.jp
(必ずお名前と電話番号を明記下さい)

両面ポケット付き!!

肩がけで便利に使える
小型バッグ

縦220×横170mm



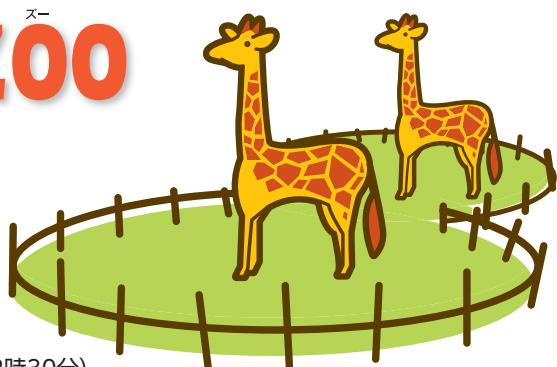
ドリームデイ・アット・ザ・ズーを開催します!

Dream day at the ZOO

障がいのある人とその家族が動物園で楽しいひと時を過ごす「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」という活動は、1996年にオランダのロッテルダム動物園で始まりました。

今回、天王寺動物園では「ドリームデイ・アット・ザ・ズー」として昼間に開催します。この機会に園内をどうぞごゆっくりお楽しみください。

日 時 3月30日(月)午前10時～午後3時(最終入園: 午後2時30分)



対象 身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳、被爆者健康手帳、戦傷病者手帳のいずれかをお持ちの方とそのご家族及び介助者

会場 天王寺動物園 TEL06-6771-8401(天王寺区茶臼山町1-108)

内 容 園内見学など ※動物とのふれあいのイベントはありません。

参加方法 当日、ゲートスタッフに上記に記載の手帳の原本をご提示ください。(ミライロIDの登録画面でも可)

※事前申込の必要はありません。※下記をご了承の上、ご参加ください。

- ・天王寺動物園での介助の提供はありません。
- ・園内にはやや急な坂道もあるため、介助が必要な人は付き添いが必要です。
- ・当園は報道各社による取材が入る可能性があり、テレビ等で放送される場合があります。
- ・動物が驚いてしまうので、獣舎前のフラッシュ撮影はご遠慮ください。
- ・動物の体調や天候等により、変更・中止する場合があります。

詳細は、ホームページをご確認ください。

参加費
無料



社会全体でこどもを支える仕組み

大阪市社会福祉協議会 地域こども支援ネットワーク事業の取組み

こどもに関する課題を「他人事」ではなく、一人ひとりが「我が事」と捉え、地域住民と社協、地域団体、民生委員・児童委員、社会福祉施設、企業・団体などが一体となって、こどもの食や学習の支援をはじめ、こどもたちが身近に集うことができる居場所づくりを推進しています。

◇活動者や応援者のネットワークづくり

●地域こども支援団体連絡会

開催日：偶数月の第3金曜日 午前10時～正午
※変更になる場合があります。

●区域のネットワークとの連携

◇企業や社会福祉施設の協力による物資提供

●こども支援団体への物資提供の調整

◇企業等の協力による、交流イベントや体験活動

企業等の協力により、様々な世代とふれあう交流イベントや、企業の強みを活かした職業体験活動などを実施し、こどもの文化的な活動や将来の夢や目標を持つことを応援しています。

◇活動拠点や活動者の拡充

●こどもの居場所づくりサポート講座

●こども支援活動に関する相談支援

◇こども支援活動の啓発や広報活動

●啓発シンポジウムの開催

●ホームページでの情報発信

ホームページは
こちらから



学生ボランティア活動

それゆけ!
がんばれ!

連載リレーフォーム

No.55

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

笑顔が集まる食とつながりの場所

私は、いじめと遊んだり話をしたりするのがとても好きで、何か良い活動がないかと探していたところ友人に声をかけてもらひ、いじめ食堂というボランティアに出会ったのでこの活動に参加することにしました。

こども食堂では月に1・2回行われる食事の提供や、長期休みやイベント行事の際に行われる宿題会を通して、こどもたちと関わっています。宿題会では学生ボランティアの高校生・大学生が主体となって、小・中学生の難しい宿題を手伝っていました。また、つながりの場といつこともあります。わからな

三浦 正之助
難波校
大原簿記法律専門学校



プロフィール

所属団体:NPO法人smileちあふる
趣味:サウナ・料理
学年:1年

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただきます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問い合わせ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当:泉)

エントリーは
こちらから▶



アンケートにご協力ください！

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力ををお願いしています。あなたのご意見やご感想をお聞かせください。抽選で毎号3人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問的回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
アなし イ1年未満 ウ1～4年 エ5～9年 オ10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
アある イなし ウまだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか?その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート 情報誌COMVO301号係」まで
(住所は下記参照)

※締め切り 2026(令和8)年3月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。

※お預かりした個人情報は、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。



ボランティア・市民活動情報誌 「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

■体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年6回発行 各40,000部

■広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申込ください)

■申込方法
下記まで問合せください



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)
表4 1ページ	234,000円	240×170
表4 1/2ページ	127,500円	120×170
本文 1ページ	156,000円	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	120×170
本文 1/4ページ	46,500円	60×170

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。

それ以外は別途製版料が必要です。

※掲載ページの指定はできません。

※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

所在地 〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/ 06-6765-4041 FAX/ 06-6765-5618

E-mail ocvac@osaka-sishakyo.jp HP <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

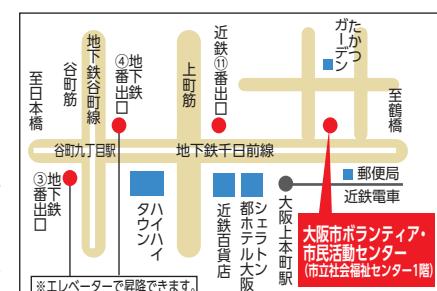
●開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)

●休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2026年2月15日

●発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぼこ・あ・ぼこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。

●本誌は大阪府共同募金会の助成を受けて作成しています



「COMVO」主な設置・配布場所

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区社会福祉協議会、大阪市役所・区役所・区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※大阪市ボランティア・市民活動センターでは、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

大阪シティ信用金庫 社会貢献活動トピックス



「大阪・関西万博メモリアルウォーキング」に協賛

当金庫は、地域の皆さんと役職員の健康増進を目的として、11月24日(月)に大阪府ウォーキング協会が主催する「大阪・関西万博メモリアルウォーキング舞洲・夢洲を歩く」に冠協賛しました。

当日、当金庫役職員を含む178名の参加者は、此花区の伝法公園から舞洲の「大阪シティ信用金庫スタジアム」の前を通り、夢洲を目指しました。途中夢舞大橋から大阪・関西万博の「大屋根リング」を望み、またゴール地点の夢洲駅前では万博会場の「東ゲート」を撮影するなど、ウォーキングと万博の余韻を楽しみました。



夢舞大橋から「大屋根リング」を望む参加者

さあ、私たちと
新たなステージへ



三倉茉奈

三倉佳奈

お客さまとともに未来を拓く

信頼で地域とつながる

大阪シティ信用金庫

※写真はイメージです

本店 〒541-0041 大阪市中央区北浜2-5-4 TEL(06)6201-2881(代表)

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

名 称	所 在 地	電 話(06)	FAX(06)
北区ボランティア・市民活動センター	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区ボランティア・市民活動センター	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区ボランティア・市民活動センター	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区ボランティア・市民活動センター	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区ボランティア・市民活動センター	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区ボランティア・市民活動センター	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区ボランティア・市民活動センター	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区ボランティア・市民活動センター	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区ボランティア・市民活動センター	天王寺区六万体町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区ボランティア・市民活動センター	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区ボランティア・市民活動センター	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区ボランティア・市民活動センター	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区ボランティア・市民活動センター	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区ボランティア・市民活動センター	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区ボランティア・市民活動センター	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区ボランティア・市民活動センター	旭区高殿6-16-1 あさひあつたかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区ボランティア・市民活動センター	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区ボランティア・市民活動センター	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
あべのボランティア活動センター	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区ボランティア・市民活動センター	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区ボランティア・市民活動センター	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区ボランティア・市民活動センター	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区ボランティア・市民活動センター	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区ボランティア・市民活動センター	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668